

課題別委員会「人口縮小社会における問題解決のための検討委員会」（第1回）  
議事要旨

日 時 令和3年3月9日（火）14:00～16:00

会 場 オンライン会議

出席者（敬称略）

【委員】馬奈木俊介、石井クンツ昌子、伊藤公雄、遠藤薫、遠藤求、大沢真理、  
落合恵美子、金子隆一、武石恵美子、渡辺美代子

【事務局】松室寛治（参事官） 薦田有紀子

議事

1. 自己紹介

出席委員による自己紹介を行った。

2. 本委員会の趣旨説明

24期の「人口縮小社会における問題解決のための検討委員会」においては、提言取りまとめ、シンポジウム開催という形で成果を上げることができた。シンポジウム参加者からも、コロナ禍が人口問題に及ぼす影響や人口縮小社会へのより深い検討の必要性に言及されるなど、このテーマはさらに深く議論する必要性が高いことから、同じテーマで委員会を継続することとした。

3. 委員長の選出と副委員長・幹事の指名

遠藤（薫）委員が委員長に選出された。委員長より、金子委員が副委員長に、武石委員が幹事に指名された。

4. 今期の委員会活動について

① メンバーの拡充について

メンバーの拡充について提案があり、4月幹事会での承認に向けて対応することとなった。参加していただきたいメンバーに関しては委員から個別に依頼すること、及び第2部、第3部の部長にそれぞれ2名の推薦依頼を行うこと、が了承された。

② 委員会の今後の予定について

本委員会は、第25期（2023年9月まで）において提言をまとめ、シンポジウム開催、提言の内容の普及のための対外的な発信を行うこととする。特に、提言の内容を社会に広く知ってもらうことが重要であり、そのために提言を早めに取りまとめるのがよいという意見があった。

また、シンポジウムの効果を上げるために、オンラインによる開催、シンポジウムをデータ保存して公開すること（著作権の問題があり難しい）、シンポジウムの広報を工夫する必要性、などについて意見が出された。

委員会の開催は、予算的には年間 2 回程度となるが、オンライン開催とすることなどで開催回数を増やせる可能性があることについて提案され、その方向で検討することが承認された。

### ③ 委員会で議論する内容等について

前期の提言を基礎に置いて議論を深めていくこととし、本委員会で取り上げるテーマや内容として、以下のような意見が出された。

- ・ 国際比較や海外の事例から学ぶなど、国際的な視点からも議論を深める
- ・ 前期の議論後にでてきた大きな問題として、大規模感染症や気候変動の問題があり、特に新型コロナが人口に及ぼした影響に関しては注視する必要がある
- ・ 地方の活性化や地域創生について取り上げるべきである
- ・ 経営者はDXに注目しており、これが働き方やライフスタイルをどのように変えるのかは重要な視点となる
- ・ 国際結婚、移民の子どもの教育（包摂）など、マイグレーションを取り上げるべきであり、これは海外の事例から学ぶことも多い

また、若者にとって重要なテーマであることに鑑み、若者を巻き込んで議論することができないか、教育現場（家庭科教育など）と連携した提言の普及ができないか、などの意見が出された。

### 5.その他

事務局から、メールアドレスをメンバー間で共有すること、メール審議を活用して意見を集約することについて提案がなされ、了承された。

議事要旨の作成は幹事が担当すること、議事要旨に対する委員会の承認はメール審議で行い、最終的に委員長に一任することが了承された。

### 6.次回以降の委員会について

次回以降新しいメンバーからの課題提起をしていただき、その後必要に応じてゲストのプレゼンテーションを依頼するなどにより、議論を深めることが了承された。